

第2回 横浜市境之谷公園こどもログハウス指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	平成27年8月10日(火) 10時40分～12時00分
開 催 場 所	西区役所地下1階地下A会議室
出 席 者	<p>【選定委員】</p> <p>中西 正彦(委員長)、井手 美由樹、酒井 俊夫、菜花 好和、米岡 美智枝</p> <p>【事務局】</p> <p>早川地域振興課長、立川担当係長、相澤担当職員、後澤担当職員</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部公開(傍聴者1人) ※プレゼンテーション終了後の質疑以降は非公開
議 題	<p>1 面接審査について</p> <p>2 指定候補者の選定について</p>
決 定 事 項	<p>次の団体を指定候補者として選定した。</p> <p>【指定候補者】一般社団法人西区区民利用施設協会</p> <p>この結果を西区長に報告する。</p>
議 事	<p>1 面接審査について</p> <p>(事務局) 第1回選定委員会の際の決定事項に基づき、プレゼンテーション後の質疑、指定候補者の選定については非公開とすることを確認。</p> <p>公募状況(応募団体数:1)、公募に関する質問・回答、面接審査の進め方について説明。</p> <p>応募団体について応募資格の欠格事項に該当していない調査結果を報告。</p> <p>(委員長) 最低基準については各委員の採点結果の合計が満点の6割以上であることを再確認。</p> <p>(委員) 異議なし。</p> <p>【応募団体:一般社団法人西区区民利用施設協会】</p> <p>(団 体) プレゼンテーション。</p> <p>[質疑]</p> <p>(委 員) 遊具の点検はどのように行っているのか。</p> <p>(団 体) 施設職員が毎朝の清掃時に点検を行っている。また、環境創造局が専門業者に委託して年1回詳細点検を行っている。</p> <p>(委 員) 地域と連携した事業の企画について人気のあるものはなにか。</p> <p>(団 体) 地域の公園清掃に併せて焼き芋大会を実施している。</p> <p>(委 員) トラブル等の事例について具体的に聞きたい。</p> <p>(団 体) 子どもがネットはしごの網目に頭を挟んだことがあり、その後ネットを交換した。過度なイタズラやスタッフへの暴言については、スタッフで情報を共有するとともに、近隣の学校と連携して対応した。</p>

- (委員) AEDの訓練は年1回で十分か。
- (団体) 使用方法は簡単であり、使用時に落ち着いて行動できるかが大事と考えている。現状は年1回の実施を考えている。
- (委員) 施設利用人数の増加の要因はなにか。
- (団体) 就学前の幼児の利用が増えている。西区の若年層の人口増が背景にあると思われる。
- (委員) 発達障害、貧困、スマートフォンなど子どもを取り巻く環境変化への対応について聞きたい。
- (団体) 子どもにとって居心地のよい施設にしようと心がけている。スマートフォンなどの貴重品については一時的に預かるようにしている。
- (委員) 指定管理料の提案額の増加理由について聞きたい。
- (団体) 最低賃金の上昇による人件費の増加が大きい。
- (委員) 新しい取組は何か。
- (団体) 未就園児の利用者数の増加に力を入れたい。小学生が利用し始める前の時間帯は施設に余裕があり、施設の存在を知らない転入者へアピールし、利用者数の増加につなげたい。

2 指定候補者の選定について

	団体名	得点
1	一般社団法人西区区民利用施設協会	320/500

(委員長) 一般社団法人西区区民利用施設協会を指定候補者として選定する。

(委員) 異議なし。

[講評]

- ・応募団体の財務状況に問題はない。
- ・これまでの施設運営に基づく安定性が感じられる。
- ・地域との連携、事業の企画について力を入れている。
- ・公園は指定管理者の管理範囲ではないが、公園内の施設である以上、施設内だけでなく公園で遊ぶ子どもの危機対応についても考えておく必要がある。
- ・行事の地域外への周知や子育てサロンへの情報提供など積極的に広報に取り組んでほしい。
- ・発達障害や問題を抱えた子どもへのケアについて、他機関との連携や研修の実施などに取り組んでほしい。
- ・経費については効率的な執行を求める。